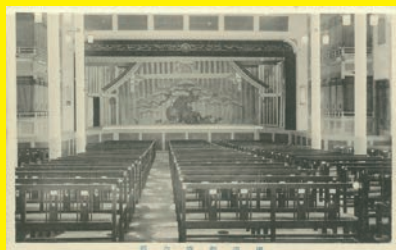


一般財団法人 山本清 記念財団講演会

「1923関東大震災と阪神間」

～阪神間の娯楽とレジャー、震災前夜～



1923年(大正12年)この年に発生した関東大震災において、首都圏は壊滅的な打撃を被る。片や神戸と大阪を結ぶ阪神間には、明治の終わり頃より、さまざまな娯楽施設ができるようになり、震災翌年には甲子園大運動場なども誕生し、首都圏と阪神間において対照的な様相を呈していくことになる。今回の講演会では、近代以降の娯楽地開発とそれをめぐる開発資本、社会背景をテーマとした研究されている海老先生に、特にこの年前後の西宮～阪神間のモダンイズム文化を背景とした娯楽レジャー施設の状況をスライドを交えながら解説いただきます。

ぜひこの機会に聴講ください。参加費は無料、申し込みは先着予約制です。

参加 申込

右の二次元コードをスマホで読み取り、
にしのみや観光協会ホームページより
お申し込みください。
10/7(月)AM9:00～
(定員になり次第締め切ります)



【主催】一般財団法人 山本清 記念財団

【協力】西宮市・一般社団法人にしのみや観光協会(まちたびにしのみや)

【問合せ】一般社団法人にしのみや観光協会 Tel 0798-31-7821 9:00～17:30 ※定休日 土日祝

※写真の出典:にしのみやオープンデータサイト

【実施日】 **参加無料・事前予約・先着**

11/17(日)

【時間】13:30～15:00(受付は30分前より)

【定員】90名(先着)

【会場】西宮市民会館 中会議室401(4F)

西宮市六湛寺町10-11 西宮市役所南隣 阪神電車西宮駅下車北すぐ



講師

海老良平氏

大手前大学 准教授

<講師プロフィール>

経済学博士。大手前大学現代社会学部准教授。専門は観光学、地域研究。北摂に育ち、青山学院大学を卒業後、食品関係の業界新聞に勤務する。その後、神戸学院大学院経済学研究科に進学。博士課程修了後は大学で主に地域学、観光学を教える。現在の研究テーマは近代以降の娯楽機関の開発とそれをめぐる開発資本、社会背景に関する研究。2020年より現職。神戸外国人居留地研究会理事。

主な著作

- 『大手前大学比較文化研究叢書19「コーヒー・カフェ文化と阪神間」』(2024)水声社(編著)
- 『入門観光学[改訂版]』(2024)ミネルヴァ書房(分担執筆)
- 『1923～関東大震災と阪神間～』(2023)神戸新聞総合出版センター(編著)



MACHITABI
NISHINOMIYA